



2025年 新春の挨拶



新年あけましておめでとうございます。

新しい年の始まりにあたり、町民の皆様にご挨拶申し上げます。

2024年は、住民の利便性向上に繋がるさまざまな取り組みを行いました。

特に、長年行政手続きの拡充を望む声が多かった西当別地区では、これまでの太美出張所に代わり、サツドラ当別太美店内に「西当別支所」を開設いたしました。太美出張所より取り扱い業務が増え、転入や転居などの手続きをワンストップで行えるようになっただけでなく、地域住民の買い物ニーズにも対応した新たな官民連携の取り組みにより、快適に生活できる環境が整備されました。

加えて、町内の消費拡大やキャッシュレス化の促進策として「とうべつ EZOCA」を導入しました。

さらに、雪が多い本町において、冬の暮らしを守るために道路の除排雪は極めて重要であることから、今年度より除雪機械にGPS端末を搭載し、ホームページからリアルタイムで除雪状況を確認できるよう、「除雪情報管理システム」を導入しました。

引き続き利便性向上を図り、安心して住みやすいまちづくりを進めてまいります。

また、「自動運転バスの実証運行」について、ロイズタウン駅周辺における冬期の実証運行を行ったことを皮切りに、夏には「信号協調」「路車協調」の実証、秋には実証範囲を本町地区にも広げました。今後も、将来に向けた安全技術の向上に資する取り組みにより、持続可能な公共交通を実現し、住民の生活を支える移動手段となるよう発展させてまいりたいと考えております。

それから、「住宅購入支援金」の中古住宅への対象拡充や「高等学校等生徒通学交通費助成金制度」の開始により、移住・定住促進への取り組みがより一層進められました。これらの施策は、若い世代の定住を支援し、地域の活性化に大きく寄与しております。

2025年の干支は乙巳（きのと・み）で、「努力を積み重ねて安定を築き、変化に柔軟に対応しながら成長する年」です。依然として北海道医療大学の移転対策等の課題はありますが、これまでの努力を土台に、さらなる飛躍を目指して邁進する所存です。

新しい一年が皆様にとって豊かで、活気に満ちた年となりますよう、心よりお祈り申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。

当別町長 後藤 正洋

2024年 当別町の主な事業

消費拡大、行政手続きの利便性向上

とうべつEZOCA導入

6月23日

消費拡大やキャッシュレス化促進の一環として、これまでの「アウルカード」に変わる「とうべつEZOCA」を導入。



西当別支所開設

7月1日

西当別地区の住民の利便性向上を図るため、サツドラ当別太美店内に西当別支所を開設。
民間店舗内に開設された支所は道内初。



自動運転バス実証運行を3回実施

冬期実証運行

1月30日から2月3日

冬期の実証運行を初実施。降雪や積雪環境、路面の凍結、吹き溜まりなどの状況下における運行データを収集。



新技術実証

8月9日から9月8日

交差点のセンサーからの情報や信号機の状況をリアルタイムで自動運転バスに通知する「路車協調」「信号協調」を実施。



本町地区初実証

10月19日から11月3日

ロイズタウン駅周辺エリアで実施してきた実証運行を、JR 当別駅周辺エリアでも実施。

